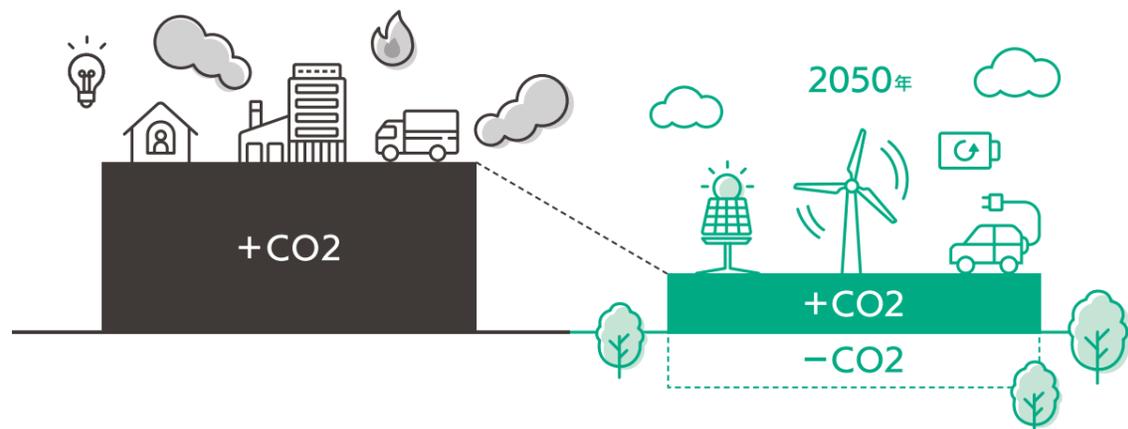


カーボンニュートラル

って何だろう？

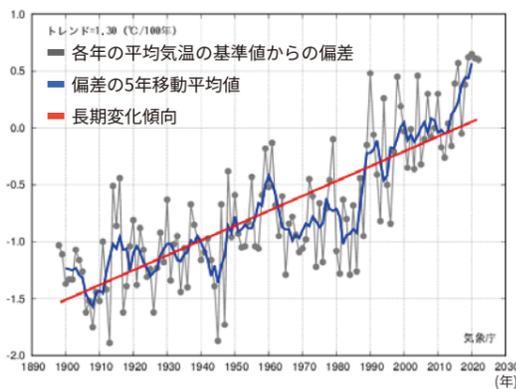


これまでは化石燃料由来の電気や天然ガスなどのエネルギーを使い、CO2などの温室効果ガスを大量に排出する社会でした。カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量を大幅に減らして、植林や森林管理などによる吸収・除去量とイコールにすることで、温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを意味しています。それを2050年までに実現するというのが国全体の目標です。



なぜ 取り組む必要 があるんだろう？

日本の年平均気温偏差



気象庁の報告によると、日本の年平均気温はさまざまな変動を繰り返しながら上昇しており、長期的には100年あたり1.3°Cの割合で上昇しています。



このまま緩和策を取らなかった場合、将来的に4°C前後の気温上昇が発生し、地球に大きなダメージを与えると予測されています。

温暖化が進むと起こること

大型台風

海面水温の上昇で強大な台風が発生し、水害による被害も増加

猛暑

暑さに関連する病気が増え、屋外の労働が困難に

健康リスク

熱中症や、蚊の大量発生による感染症が増加する可能性も

生態系変化による品質の低下と減少

高温による農産物や家畜等への影響で食料の供給に打撃も

Carbon Neutral

ゼロカーボンシティを目指して



パリ協定とは

- 世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2°Cより十分低く保ち、1.5°Cに抑える努力をする
- 21世紀後半には、温室効果ガス排出量と吸収・除去量のバランスをとる
- 全ての参加国に排出削減を求める枠組みとなっている

近年、各地で頻発している大型台風やゲリラ豪雨などの気象災害。これらは地球温暖化による気候変動の影響と考えられており、私たちの日常生活に大きな影響を及ぼしています。この地球規模の課題解決に向けて、2015年にパリ協定が締結され、世界共通の長期目標が設定されました。現在、120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラルの実現を目指す」という目標を掲げています。

市でも、2020年にゼロカーボンシティ宣言を行い、2030年に温室効果ガスの排出量を46パーセント削減するという目標を掲げました。また、今年度からは環境課内にカーボンニュートラル推進室を新設し、CO2排出量の削減に向けて市民・事業者・行政が一体となって、地域ぐるみで取り組みを進めていきます。

カーボンニュートラルを実現するためには、全ての人が主役となり取り組みを行うことが重要です。誰もが安心して豊かに暮らせる環境を次の世代に受け継いでいくために、私たちができることは何か考えてみましょう。

明るい未来のために